

平成 26 年 12 月 11 日
関東東北産業保安監督部

坑廃水処理施設の豪雪対策について（注意喚起）

本年 2 月に関東甲信地方を中心に記録的な大雪となり、管内の坑廃水処理を実施している休止鉱山において、自家発電設備が停止し、中和処理が長期間停止しました。また、道路封鎖による人員資材の搬入に支障を来し、未処理の坑廃水が河川に流出する恐れが生じる事態となりました。

近年、各地において観測史上初となる豪雪、豪雨が記録されているうえ、今季も既に各地で大雪の情報が報じられており、同様の事象の発生に警戒が必要なことから、管内の坑廃水処理を実施している休止金属鉱山の鉱業権者等に対し、下記文書を発出し、豪雪に備えた対応について注意喚起を行いました。

記

坑廃水処理施設の豪雪対策について（注意喚起）（PDF 形式(124kb)）

（本発表資料のお問い合わせ先）

関東東北産業保安監督部 鉱害防止課長 柏木広憲

担当者： 阪西（ばんざい）

電 話： 0 4 8 - 6 0 0 - 0 4 4 6（直通）